
マルボロマン

中山 拓也

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マルボロマン

【著者名】

中山 拓也

N4839B

【あらすじ】

青春時代のしょもないけどちゃんとした一日

(前書き)

暇つぶし程度に読んでください

キーン・ローン・カーン・ローン。

「ふわあああ

眠くて眠くてたまらねえ。俺は立ち入り禁止の屋上へ続く階段を上がる。

数学の授業なんか聞いてられるか。サイン、コサインとかいつ使うんだよ？

さつきの授業は古語だったけど、先生はとりあえず“授業”をすればいいから寝てたつてケータイいじつたつて関係ない。だから寝てたんだけどまだ寝足りない。体がおかしくなってるんじゃねえか？

眠い目をこすつて階段を登りきる。

屋上の出入り口は立ち入り禁止でもちろん鍵がかけてある。

だが、一組の野田君が屋上へのピッキング法を入手、針金一本で開ける事ができるというノーベル賞並みの技を2000円で売っている。

こいつや安いと買った。彼はもう生活に困らないだろう。

ポケットから例の針金を取り出したが、ちょっとだけ開いている。
くそ、先客か…。

重い扉を開けると、先客の身元がわかつた。幼なじみの三谷だ。

「よお、三谷」

「おお、神田。お前もサボリ?」「まあな。数学だからな」

「俺のクラスは物理だ」

三谷の親父の実家はなんとタバコ屋で、賞味期限が1ヶ月後のタバコをめちゃくちゃ貰つてくる。しかも三谷の親父も高校生から吸つてたから同じ血が流れてるんだろと許可。素晴らしい幼なじみだと感涙だ。

「タバコ貰つたぞ」

「マジで? くれ」

「ほり」

三谷から貰つた袋には数箱のマルボロのメンソールがあった。

「サンキュー」

「なんでマルメンかなあ」

「目が覚めるんだよ」

「へえ」

そんな三谷が吸つてるのは、Sevenstarsヒラッキーストライク。人それぞれ好みがあるからしじうがねえよ。

「なあ

「ん?」

「俺ら、これでいいんかな
何言つてんかい?

「はあ?」

「なんか、嫌いな授業をサボつて、屋上でタバコを吸つて過ごす。
これで終わつていいいのかなって思つたんよ」

「いいんじゃねん

「はあ

「タバコ会社の人は、俺等がいるから食えるんだぜ」

「…だな

「将来はタバコ会社にでも行くか

「いいね

そんな俺等のじょうもない1日だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4839b/>

マルボロマン

2010年12月18日17時33分発行